

2015年12月10日

日興アイ・アール株式会社

2015年度 全上場企業ホームページ充実度ランキングを発表

- 総合ランキングで日本電気、新興市場ランキングでアルトナーが初の1位 -

日興アイ・アール株式会社(以下、日興アイ・アール)は、「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の3つの視点で設定した169の客観的な評価項目に基づき、全上場企業3,622社のホームページについて調査を行い、「2015年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」を発表いたしました。

本年度における全上場企業総合ランキングでは日本電気株式会社(東証1部)が1位、新興市場ランキングでは株式会社アルトナー(JASDAQ)が、ともに初の1位となりました。

このホームページ充実度ランキングは、全上場企業のホームページにおける情報開示の充実度調査と、企業の情報開示に対する意識醸成の促進を目的としており、2003年度に開始して以来、毎年発表を続けており、今年度で13回目となります。

また、調査するホームページの評価項目は、日興アイ・アールが独自の視点で設定し、毎年見直しを行っており、このランキング結果は、株式会社日本経済新聞社の「NEEDS-Cges」(コーポレート・ガバナンス評価システム)の「情報開示・ウェブの充実度」項目における指標判断の一つに採用されています。

2015年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング 総合ランキング ベスト5

順位	前回 順位	企業名	総合ポイント
1	(9)	(6701)日本電気	95.1
2	(3)	(9697)カプコン	94.8
3	(1)	(9984)ソフトバンクグループ	93.8
4	(5)	(6762)TDK	93.0
5	(4)	(9433)KDDI	92.8

「2015年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査結果」の詳細につきましては、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> に掲載しております。

2015 年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査結果について

- ・ 総合ランキングでは日本電気株式会社、新興市場ランキングでは株式会社アルトナーがともに初の 1 位となりました。
- ・ 評価視点別では、「分かりやすさ」トップに日本電気株式会社、「使いやすさ」トップに株式会社カプコンと株式会社 UACJ、「情報の多さ」トップに日本電気株式会社とソフトバンクグループ株式会社、TDK 株式会社がランクインしております。
- ・ カテゴリ別ページの設置状況を見ると、コーポレートガバナンス専用ページを設けている企業が全上場企業のうち、**41.1%**(昨年度:**38.2%**)、個人投資家向け専用ページ・コンテンツを設けている企業が **21.0%**(昨年度:**19.6%**)と昨年に比べて増加しております。
- ・ IR 情報の掲載状況については、有価証券報告書 **75.2%**(昨年度:**73.3%**)、株主通信 **69.8%**(昨年度:**67.8%**)、コーポレートガバナンス報告書 **32.0%**(昨年度:**30.3%**)などの IR 資料開示率が昨年に引き続き上昇しています。決算関連情報の掲載状況については、決算説明会のプレゼンテーション資料 **60.1%**(昨年度:**55.6%**)、決算説明会の動画配信 **14.0%**(昨年度:**13.5%**)、決算説明会の質疑応答 **6.2%**(昨年度:**5.5%**)となりました。
- ・ 今年度の調査においては、コーポレートガバナンス・コード導入に伴い、ガバナンス関連を中心に英語対応、スマートフォン対応などの調査項目を充実させました。調査結果でも、やはりコーポレートガバナンスを意識した開示を Web 上で実施している企業が上位にランクインしています。上位企業の多くは、ガバナンス体制、取締役の選任理由や取締役会の出席状況などを HTML で開示しており、投資家との対話を重視する自社の姿勢を強くアピールしています。今回より新たに調査を開始した「株主との建設的な対話を促進するための体制整備・取り組みに関する方針」を掲載している企業は **1.8%**、「政策保有株式に関する方針」は、**0.4%**でした。
- ・ 個人投資家向けの情報開示も年々充実しており、専用コンテンツを用意し、自社の特徴・強みや、ビジネスモデルのポイント、株主還元などを整理して、投資家の理解促進を図っております。
- ・ スマートフォン対応については、Web サイト制作のトレンドを鑑み、「レスポンシブウェブデザイン対応」を新たに調査項目に加えました。日本語版サイトが対応している企業は **10.1%**でした。
- ・ 前回より調査を開始した「統合レポート」については、掲載している企業は **2.6%**(昨年度:**2.1%**)でした。

全上場企業ホームページ充実度ランキング調査概要

(1) コンセプト

企業ホームページについて、株主、投資家、消費者、取引企業、就職希望者など、企業のステークホルダーが情報を取得し、状況を把握するための要素をどの程度備えているかを調査いたしました。

(2) 対象企業

全上場企業 3,622 社

(2015年7月1日時点での上場企業とREIT。但し、2015年9月末時点で上場廃止となった企業および東証外国株市場上場企業を除く)

(3) 調査対象

対象企業のコーポレートサイト(商用サイトを除く)

(4) 調査期間

2015年7月～2015年9月

(上記期間内でのリニューアル・内容更新が行われた場合、リニューアル・内容更新前の状態で評価している可能性があります。)

(5) 評価項目

今年度は、169の評価項目に基づき調査を行いました。評価項目は、「分かりやすさ」32項目、「使いやすさ」35項目、「情報の多さ」102項目とし、レイアウト・デザイン・文体等の主観的内容は評価の対象外としました。

今後、環境の変化を踏まえ、適宜、評価項目の見直しを行います。

(6) 評価方法

対象企業のホームページごとに各評価項目の有無を調査し、該当項目をカウントしました。その該当項目数と全体の平均該当項目数で算出した偏差値を各評価項目の評点ポイントとしました。3つの評価項目の評点ポイントを平均したものを総合ポイントとし、総合ランキングを作成しました。

ポイントの目安は、偏差値50超が平均より上、50が平均、50未満が平均未満となります。

1. 総合ランキング ベスト 20 (同ポイントの場合は銘柄コード順に掲載)

順位	前回 順位	企業名	総合ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
1	(9)	(6701)日本電気	95.1	94.4	98.6	92.2
2	(3)	(9697)カプコン	94.8	90.5	103.0	90.9
3	(1)	(9984)ソフトバンクグループ	93.8	90.5	98.6	92.2
4	(5)	(6762)TDK	93.0	90.5	96.4	92.2
5	(4)	(9433)KDDI	92.8	90.5	100.8	87.0
6	(18)	(5741)UACJ	92.4	88.6	103.0	85.7
7	(13)	(4902)コニカミノルタ	89.9	90.5	87.7	91.6
8	(6)	(9437)NTT ドコモ	89.4	88.6	89.9	89.6
9	(6)	(7011)三菱重工業	89.1	88.6	89.9	89.0
10	(13)	(6479)ミネベア	88.6	84.6	92.1	89.0
11	(12)	(2767)フィールズ	88.3	84.6	96.4	83.8
12	(61)	(8411)みずほフィナンシャルグループ	88.0	88.6	87.7	87.7
13	(33)	(7732)トプコン	87.5	86.6	92.1	83.8
14	(2)	(6502)東芝	87.2	84.6	89.9	87.0
15	(34)	(8566)リコーリース	86.8	92.5	89.9	77.9
16	(21)	(8766)東京海上ホールディングス	86.4	84.6	85.6	89.0
17	(19)	(8001)伊藤忠商事	85.7	88.6	79.0	89.6
18	(24)	(4901)富士フイルムホールディングス	84.9	84.6	87.7	82.5
19	(23)	(8060)キャノンマーケティングジャパン	84.7	88.6	81.2	84.4
19	(38)	(8508)J トラスト	84.7	78.8	94.3	81.2

・各評価項目中、一番高い評点をハイライトしています。

2. 業種別ランキング トップ企業

業種	(銘柄コード) 企業名	総合ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
電気機器	(6701)日本電気	95.1	94.4	98.6	92.2
情報・通信業	(9697)カプコン	94.8	90.5	103.0	90.9
非鉄金属	(5741)UACJ	92.4	88.6	103.0	85.7
機械	(7011)三菱重工業	89.1	88.6	89.9	89.0
卸売業	(2767)フィールズ	88.3	84.6	96.4	83.8
銀行業	(8411)みずほフィナンシャルグループ	88.0	88.6	87.7	87.7
精密機器	(7732)トプコン	87.5	86.6	92.1	83.8
その他金融業	(8566)リコーリース	86.8	92.5	89.9	77.9
保険業	(8766)東京海上ホールディングス	86.4	84.6	85.6	89.0
化学	(4901)富士フイルムホールディングス	84.9	84.6	87.7	82.5
小売業	(8267)イオン	84.2	82.7	85.6	84.4
REIT	(8953)日本リテールファンド投資法人	83.9	86.6	89.9	75.3
その他製品	(7966)リンテック	83.8	82.7	85.6	83.1
輸送用機器	(7222)日産車体	83.6	84.6	85.6	80.5
石油・石炭製品	(5020)JX ホールディングス	83.3	84.6	83.4	81.8
電気・ガス業	(9531)東京瓦斯	83.1	80.7	85.6	83.1
サービス業	(2163)アルトナー	81.7	88.6	87.7	68.8
医薬品	(4516)日本新薬	81.1	82.7	89.9	70.8
鉱業	(1605)国際石油開発帝石	80.4	74.8	83.4	83.1
不動産業	(3289)東急不動産ホールディングス	79.9	80.7	79.0	79.9
繊維製品	(3401)帝人	75.7	72.9	79.0	75.3
食料品	(2502)アサヒグループホールディングス	74.9	78.8	68.1	77.9
水産・農林業	(1332)日本水産	72.1	72.9	74.7	68.8
ガラス・土石製品	(5202)日本板硝子	72.0	70.9	66.0	79.2
海運業	(9101)日本郵船	72.0	72.9	63.8	79.2
建設業	(1982)日比谷総合設備	71.3	70.9	74.7	68.2
陸運業	(9062)日本通運	70.4	63.1	74.7	73.4
空運業	(9202)ANA ホールディングス	69.3	67.0	61.6	79.2
ゴム製品	(5108)ブリヂストン	68.6	65.0	68.1	72.7
鉄鋼	(5456)朝日工業	68.5	72.9	70.3	62.3
証券・商品先物取引業	(8604)野村ホールディングス	67.1	69.0	61.6	70.8
金属製品	(5938)LIXIL グループ	64.9	63.1	59.4	72.1
倉庫・運輸関連業	(9370)郵船ロジスティクス	63.6	59.2	68.1	63.6
パルプ・紙	(3863)日本製紙	60.8	53.3	61.6	67.5

・業種分類は東証 33 業種と REIT となります。

3. 新興市場ランキング ベスト5

順位	前回 順位	(銘柄コード) 企業名	総合ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
1	(2)	(2163)アルトナー	81.7	88.6	87.7	68.8
2	(9)	(2178)トライステージ	79.3	80.7	81.2	76
3	(3)	(6267)ゼネラルパッカー	75.5	76.8	83.4	66.2
4	(60)	(2370)メディネット	73.4	72.9	74.7	72.7
5	(7)	(3353)メディカルー光	72.7	74.8	83.4	59.7

- ・新興市場は東証マザーズ、JASDAQ、札証アンビシャス、名証セントレックス、福証 Q-Board となります。
- ・「前回順位」は「2014 年度新興市場ランキング」の順位となります。

この調査は当記載内容を目的として実施しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
また、各企業のホームページは本調査期間以降に変更されている場合があります。
本調査内容の全ての部分に関する一切の権利は日興アイ・アールに属します。

内容に関するお問合せ先：
日興アイ・アール株式会社 コンサルティング営業部
濱田 03-3660-2156 hamada@nikkoir.co.jp
安田 03-3660-1093 yasuda@nikkoir.co.jp

==== 日興アイ・アール『ホームページ関連サービス』のご案内 =====

1. 『ホームページ比較診断レポート』の提供について

今回の調査結果を踏まえた『ホームページ比較診断レポート』を、上場企業向けに有償にて提供いたします。このレポートを購入いただくと、全上場企業における貴社ホームページの客観的な順位が把握できるとともに、今後のホームページリニューアルのための改善点を効率よく把握することができます。

詳細および申込みは、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> をご覧下さい。









レポートの構成は以下の内容です。

- ・貴社ホームページの評価結果
(全上場企業における貴社の総合・業種別ランキング結果および各視点別得点など)
- ・約 120 のホームページ評価項目における他社との比較診断
(ご希望の上場会社 5 社を選択することができます。)
- ・上記のホームページ評価調査における評価項目実施状況
(時価総額別、業種別の評価項目実施率など)
- ・上場企業全体におけるホームページの動向
(情報の掲載状況分析、業種別傾向分析など)

2. 『表彰ロゴ』の提供について

今回の調査結果における、ランキング上位企業に、企業ホームページ等に掲載可能な『表彰ロゴ』(英語版も可能)を有償にて提供いたします。

詳細および申込みは、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> をご覧下さい。

表彰項目	ポイントまたは順位	表彰ロゴ	
総合ランキング	総合ポイント 70 以上	最優秀サイト(総合ランキング)	
	総合ポイント 65 以上 70 未満	優秀サイト(総合ランキング)	
	総合ポイント 60 以上 65 未満	優良サイト(総合ランキング)	
業種別ランキング	1 位	最優秀サイト(業種別ランキング)	
	2~5 位	優秀サイト(業種別ランキング)	
新興市場ランキング	1~20 位	最優秀サイト(新興市場ランキング)	
	21 位~50 位	優秀サイト(新興市場ランキング)	
	51 位~100 位	優良サイト(新興市場ランキング)	

3. 『ホームページ改善サービス』-IR サイト制作支援

今回の調査結果を踏まえて、上場企業向けにコンサルティングからサイト制作までをご提供する『ホームページ改善サービス』を実施しています。詳細は日興アイ・アールまでご連絡下さい。